

【検討会の議事概要】

平成29年度に行う具体的な試験運用のイメージ、将来における機能の拡充の可能性等について了解を頂きました。
主な意見は以下の通り。

- 1) 現状の優先レーンの活用にあたり、関係者の協力が大事であり、ターミナルの処理能力の向上を計測することも重要である。
- 2) 南本牧はま道路等の供用により利便性が向上しているが、ターミナルゲートで滞留し非効率とならないように、積極的に協力をしたい。
- 3) GPS機能をシャーシに備えるという提案は期待できる。是非、コスト面も勘案しながら早期の実現につなげてほしい。
等の意見がありました。

【開催内容】

日 時: 平成29年3月14日(火) 15:30-17:00

場 所: 関東地方整備局 横浜第二合同庁舎 14階 141会議室

主 催 者: 関東地方整備局



検討会の状況



高田副局長挨拶

【検討会出席者名簿】

第3回 ICTを活用した横浜港コンテナ輸送効率化検討会

(委員)

神奈川県港運協会 横浜港運協会 常務理事	水上 裕之
三菱倉庫株式会社 横浜支店 副支店長	西 亨
神奈川県トラック協会 海上コンテナ部会 部会長	藤木 幸二
京浜海運貨物取扱同業会 業務委員会 副委員長	佐藤 康
横浜市港湾局 港湾物流部 部長	鈴木 健一
横浜川崎国際港湾株式会社 企画部長 (代理:企画部 企画課長)	正岡 孝 瀬下 英朗)
国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部長	加藤 雅啓

(関係者)

公益社団法人 日本港湾協会 港湾政策研究所 研究主幹 保安・情報システム部長	衛藤 謙介
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社 ソリューション事業推進部 次長	根木 貴史
国土交通省 港湾局 港湾経済課 国際コンテナ戦略港湾政策推進室 室長	松良 精三
国土交通省 港湾局 港湾経済課 港湾情報企画調整官	松田 茂
国土交通省 港湾局 海岸・防災課 危機管理室 室長 (代理:海岸・防災課 危機管理室 主席港湾保安全管理官)	佐瀬 浩市 林 寛之)
国土交通省 関東地方整備局 副局長	高田 昌行
国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 計画企画官	高阪 雄一